

授業科目 介護におけるコミュニケーションⅡ

| 【担当教員名】 佐藤 ユリ子 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 社会（介護福祉コース必修） |
|--|---------------------------------|---|-----------|----------------------|
| | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |
| 【カリキュラムポリシーとの関連性】 | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
| | ○ | | ○ | ◎ |
| 【概要・一般目標：GI0】 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解する。 ・利用者、利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。 | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、利用者・家族との関係づくり 2 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 3 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの技法の実際 4 介護におけるチームのコミュニケーション | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
| 1 | 感覚機能が低下している人とのコミュニケーション | | 3 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 2 | 運動機能が低下している人とのコミュニケーション | | 3 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 3 | 認知・知覚機能が低下している人とのコミュニケーション | | 3 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 4 | 介護におけるチームのコミュニケーション、記録による情報の共有化 | | 4 | 講義、担当：佐藤 ユリ子 |
| 5 | 介護に関する記録の種類 | | 4 | 講義、担当：佐藤 ユリ子 |
| 6 | 記録の方法、留意点 | | 4 | 演習、担当：佐藤 ユリ子 |
| 7 | 記録の管理、共有化、ITを活用した記録の意義活用の留意点 | | 4 | 講義、担当：佐藤 ユリ子 |
| 8 | 個人情報保護と介護記録の活用 | | 4 | 講義、担当：佐藤 ユリ子 |
| 9 | 報告の意義、目的 | | 4 | 講義、担当：佐藤 ユリ子 |
| 10 | 報告、連絡、相談の方法 1 | | 4 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 11 | 報告、連絡、相談の方法 2 | | 4 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 12 | 報告、連絡、相談の方法 3 | | 4 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 13 | 報告、連絡、相談の方法 4 | | 4 | 演習・グループ討議、担当：佐藤 ユリ子 |
| 14 | 会議の種類と方法 | | 4 | 講義と演習、担当：佐藤 ユリ子 |
| 15 | まとめ | | | 担当：佐藤 ユリ子 |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | 新版介護福祉士養成講座5コミュニケーション技術 | | 中央法規 |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | | | | |
| 【評価方法】 出席・授業態度・期末試験・レポート | | 【履修上の留意点】 | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議では、積極的に発言する。 ・演習で体験した事柄を対象者に応じて、工夫できるように学習する。 | | |